

木葉小便り

令和4年9月27日(火)発行

文責 校長 吉野 新吾

木葉山からの日の出(9/24)

「匠の会」復活! ~第1回目 実施~

コロナ禍で活動が停滞していた「匠の会」が復活しました。8月28日(日)の第1回目は、PTA美化作業の終了後、PTA 内田会長の声掛けのもと、13名のお父さんが集まりました。6年生保護者の松本辰治さんをリーダーとして児童用の棚のペンキ塗りを行い、2階廊下の棚が生まれ変わりました。楽しく作業を進めながら、お父さん同士の情報交換の様子も見られました。

第2回目も予定しています。人数が増えれば多くの作業が可能になります。次回からの参加も大いに結構です。たくさんのお参加をお待ちしています。お母さんもOKです。

作業を指揮する松本辰治隊長



竹下・菊川・関村先生が手伝ってくれました。

木葉小 これではいけない! ~「あいさつ」を最優先課題として取り組みます~

9月のはじめ、地域の方から「登校時、朝のあいさつが返ってこなくてがっかりしました。」という連絡がありました。昨年度の課題として地域でのあいさつがあげられていました。学校内ではできるあいさつが地域の中でできていないということでした。早速、職員が朝の様子を見て回ったところ、やはりよくないということが見えてきました。

そこで、学校としてもう一度課題意識をもって取り組むことにしました。学級通信で伝えてくれた先生がいます。代表委員会でも学校全体の問題として話し合うことにしました。

「あいさつは人生のパスポート」とも言われます。学校からあいさつの輪を広げていきます。子供たちに温かい声かけをお願いします。

そして「あいさつがよくなったよ。」という声を聞きたいと思います。



なかよく・元気な子供の姿が一番です。



男女なかよく遊ぶことができます。



9月8日(木)朝の運動場です。子供たちの姿を校長室から眺めながら、1日の始まりを味わうことができます。なかよく元気な姿は、見ていてうれしくなります。子供は、遊んでいるときの顔が一番幸せそうです。